

第53回鹿児島県消費者大会 大会アピール

消費者大会にご参加のみなさん

今年は被爆・戦後80年です。世界ではロシアによるウクライナ侵攻から3年、イスラエルによるパレスチナへの軍事攻撃から2年が経ちました。いまだに戦闘は続き、多くの人々が被害にあっています。

日本では政府・与党が安全保障関連3文書を見直し軍事費をGDP比2%以上に引き上げる方針を示すとともに、国はともいえる非核3原則の見直しを進めようとしています。「台湾有事」をめぐり近隣諸国との緊張が高まっています。私たち鹿児島県においても戦争を前提とした自衛隊の基地増強・日米韓の合同訓練や民間施設を使った軍事訓練などが行われています。

一方で県内でも平和を願う催しがたくさん行われました。私たち消費者が安心して暮らせるのは平和あってのものです。

今日私たちは日本の食について学びました。

日本の食料自給率は先進国の中でも最も低いグループに属しています。多くの食料を海外に依存しています。戦争や異常気象によって海外の収穫が不安定になると、私たちの食生活にも深刻な影響が及びます。安定した食料確保のためには、国内での生産を増やす施策が不可欠です。

さらに、今年も主食の米をはじめとする商品の値上げが続き、その数は2万品目以上にも及ぶと言われ、私たちの家計や食生活への影響は大きく暮らしは厳しくなっています。

安定した食料の確保、食の安心・食品の安全の確保、そして本日学んだゲノム編集食品など消費者の「知る権利」に関わる課題が数多く存在しています。

私たちは誰もが安心して生活できることを望みます。

そのためには、私たち一人ひとりが現状に关心を持ち、「おかしい」と感じることは声を上げることが大切です。今後も学び、考え、そして行動していきましょう。

2025年12月10日
第53回鹿児島県消費者大会実行委員会